

国際大会参加スナップ



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 櫻内悌三郎

例会日

1989. 5 . 22

累計 No 124

当年 No 45

会長/梨本清一

幹事/今井克義

SAA/米山忠俊

例会日/火曜日 PM12:30~1:30

例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局/三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事: ソウル国際大会参加

出席: 本日の出席 47名中38名

先週の出席率 47名中39名 82.98%

先週のメイクアップ: 5月17日 三条RCへ 山上茂夫君 本間建雄美君

5月18日 加茂RCへ 石川勝行君

5月18日 新潟西RCへ 中條耕二君

5月19日 吉田RCへ 高橋彰雄君

5月21日 ソウル国際大会へ

阿部誠一郎君 平松利朗君 本間建雄美君 本間絹枝さん

本間茂男君 樋口金占君 樋口トシさん 稲田憲治君

今井克義君 今井房子さん 五十嵐英雄君 吉川吉彦君

中條耕二君 梨本清一君 梨本トア子さん 佐藤義英君

佐藤ミチ子さん 鈴木英友君 高橋彰雄君 米山忠俊君

佐藤啓策君 外山晴一君 以上22名

5月22日 三条南RCへ 小林 満君 芦田義重君

ビジター: 燕RCより 五十嵐荘一君

加茂RCより 長沢吉男君

三条RCより 山浦日出夫君 五十嵐総一郎君 渡辺勝利君 加藤紋次郎君

日戸平太君 斎藤弘文君 大谷幸平君 渡辺喜彦君

三条南RCより 佐々謹弥君 竹山昭二君

会長挨拶: 梨本清一

ソウル国際大会参加一わがクラブは夫人5名を含めて総勢22名の大量参加であります。11年前の東京国際大会に参加の経験のある中條君を除いては全員はじめての国際大会であります。5月

20日、大韓航空のチャーター機で出発、23日無事帰港いたしました。国際大会といっても、直接参加出来たのは、21日開会式のみ。各国の主催する朝食会や様々な晩餐会、それに各委員会など、いろいろ催されたようでしたが、残念ながらわれわれにはお呼びでない。開会式は名前の頭文字AからKまでが前半の午後4時開幕、LからZまでが後半夜の8時スタートであります。場所はオリンピックで体操競技などが行われたところ。例のすり鉢状の親覧席のあるどでかいスタジアムであります。聞くところによれば、今回の参加会員は3万8千人で、東京大会に次いで史上2番目の記録とか。そのうち日本人会員1万4千人、第256地区は600人ですから三条北の22名は鼻高々であります。開会式前半の組はあの広いところがギューギュー詰めで、後半組の時は、ガラガラとは一体どうしたことでしょう？ロータリー加盟国の国旗が女生徒（高校生？）たちの手によって入場。続いてオーストラリアと韓国の国歌演奏。そして、大会開会宣言と黙禱を捧げた後、大会委員長のイン、サング、ソングによる歓迎の辞と大会委員長の紹介です。大会プログラムの選択あたりから、わが会員たちは急速に睡魔に襲われ、やがてロイス・アビー R I 会長の講演の頃には全員ダウン（但し後半組）。ところが式典が終り、特別余興番組に入るや、再び“活力”再現。韓国の伝統宮廷音楽、また新、旧舞踊などを楽しみました。後日、桎内ガバナーによれば、R I は「本大会は大成功で所期の目的を十分に達した」と大喜び、感謝状を戴いてきましたとのこと。ヤレヤレ桎内先生もご苦労さまでした。わが北クラブは3日間ともソウル滞在。最後の1日は自由行動とし、それぞれの人がそれぞれのソウルを楽しんだようでした。私は10年振りのソウルでした。あまりの変貌ぶりにただただ驚くばかりです。人口過密、車の渋滞、モノあふれ、近代化ぶりは国際都市ソウルの顔、躍如です。人々の顔にはゆとりの表情があふれ、陽気でとても親切です。韓国の近代化はこの10年でさま変りをしたのです。やはり、行ってみなければわかりませんねえ。最後の夜は、中條君のお世話で“三条北 R C ナイト・イン・ソウル”を満喫。中條君の取引先の安宗原氏も同席して戴いて韓国の経済情勢をご披露。聞けば聞くほど韓国はデッカクになりました。「年1度は海外旅行を！」これは新会員からの言葉でした。お忙しい中、差し繰ってご参加戴いた会員及び会員夫人に心より厚く御礼申し上げます。立派な国際奉仕活動でありました。カムサハムニダ。

幹事報告： 今井幹事

◇燕 R C 例会変更

日時 6月29日(木) 夜例会 新旧交替慰労会

◇三条ライオンズクラブより30周年記念式典参加の礼状が参っております。

ソウル国際大会に参加して： 高橋彰雄君

第80回の1989年ロータリー国際年次大会に参加する北クラブ22名は新潟空港ロビーに5/20(土)午後1時30分に集合。他 R C メンバーと共に談笑、海外旅行初めての人や、ベテランの人あり、ロビーはロータリアンでいっぱいである。出発前に先ず記念撮影。桎内ガバナーの出発前の挨拶の後、チェックイン。チャーター機（大韓航空 K E-7715 便）で予定より30分以上も早くフライト午後5時にはソウル金浦空港に到着、新幹線で東京へ行くのと同じである。入国手続きをすま

せ、バスでオリンピック道路を一路ウォーカーヒルへバスガイドさんは4年前に新潟へ研修旅行に来たことがあるとのこと。弥彦神社、岩室温泉、月岡温泉と新潟県にはなかなか詳しい、まもなくアメリカのウォーカー中將の名をとって、名付けられた外人専用の娯楽場ウォーカーヒルへ到着、名前のとおり小高い丘の上にある、ラスベガスのカジノよろしく、カジノ見学入場料2,600ウォン（約¥520）撮影禁止の為、カメラを預けさせられる。ルーレットありカードあり、ここもロータリオンでいっぱい。参考の為ルールはよくわからないが賭けてみる、時間が短かいので少し勝った。大中巾に勝った人も何人かいた様である。この人達は帰国後ニコニコボックスものである。8時からショーを見ながらの夕食である。ギッシリと満席、初めは韓国民族踊躍。鮮かな色彩の民族衣装が大変うつくしい。次々と繰り広げられる中で、日本と共通点が数多く見受けられ。次は陽気なアメリカショー。10時終了の後、バスでスイスグランドホテルへ。翌21日はソウル市内民族村観光。午後からオリンピック体育館で開かれる世界大会へ。Kから始まる苗字の人は4時からL～Zから始まる苗字の人は8時から、と二班に分かれる会場は次々とバスで送り込まれ世界各国のロータリアンでいっぱいである。日本の千宗室理事の顔もみえる。8時過ぎより開会、すばらしいコンダクターの声でロータリーソング R I 会長ロイス・アビーファミリーの紹介とセレモニーが続ぎ、民族踊躍による余興、その他でフィナーレ、夜もふけてホテルへ疲れた！/22日は各自、自由行動となり、夕方6時より中條さんの取引先の紹介の漢大門近くの“栄彬”にて韓国の夜を盛大に満喫する。

5月30日例会： 早朝例会 極楽寺 午前7～8時

6月6日例会： クラブフォーラム



新潟空港で全員集合・出発前の一時